

教育の基本方針と設置学科について

1 第2回新しい学校づくり鳴門市地域協議会における論点整理

- (1) 日 時 平成18年12月20日(水)
- (2) 場 所 鳴門第一高校 マーケティング室
- (3) 議 題 新しい学校の基本方針について

学校像, 育てたい生徒像について

育てたい生徒像に体育科に関する文言がない。スポーツを通して活躍できる生徒を育てることも大切である。

漠然とした表現であり議論しにくい。まず、学科など具体的なことについて議論を進めてはどうか。

次回の地域協議会で事務局から案を提示してもらい、それについて議論してはどうか。

新しい高校の学科等について

総合学科と体育科の2学科を併設する。

進学にも就職にも対応できるようにする。総合学科はどちらにも対応できるようである。

体育科は、2クラスあれば色々な競技種目が展開できるため、魅力的なものになるのではないかと。ただし、80名が集まるかどうかという課題もある。

体育科の定員については、進路を保障する観点から40名が精一杯ではないかと。

地元企業に受け入れられるため、また、就職に役立てるため、専門的な学習ができるように配慮し、資格が取得できるようにする。

情報関係は、鳴門第一高校、鳴門工業高校の両校にあるので、ITを活用した専門的な学習ができる即戦力を育てる学科(系列)が必要である。

ロボットの全国大会に参加するなど伝統があるため、機械科は設置できなくとも、機械について勉強できるものが残せないかと。

農業、陶芸など多様な科目を選択できるようにしてほしい。

次回の地域協議会で事務局から案を提示してもらい、それをもとに議論を進める。

その他

機械コースがなくなるのは残念である。(総合技術高校で対応)

農業コースを設置してほしい。(総合学科の中の学校設定科目などで対応)

2 教育の基本方針(案)

(1)目指す学校像

- ア)生徒一人ひとりを大切にし、個性と能力を最大限に伸ばす学校
- イ)望ましい職業観、勤労観や社会奉仕の精神を育成する学校
- ウ)時代の変化や生徒の多様な学習ニーズに対応できる学校
- エ)人権尊重の精神の涵養に努め、差別のない社会の実現を目指す学校
- オ)地域に開かれた、地域とともに発展する学校

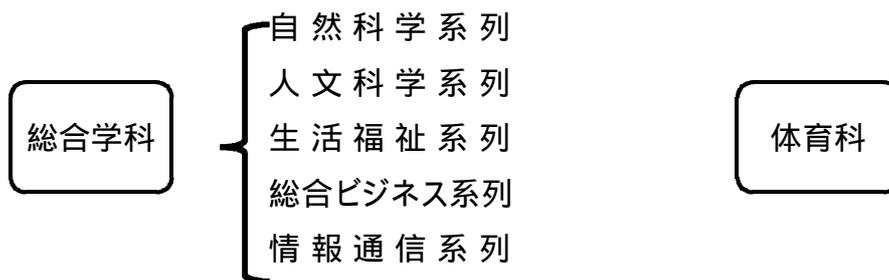
(2)育てたい生徒像

- ア)個性を最大限に伸ばし、自分の目標や夢の実現に向かって意欲的、積極的に取り組む生徒
- イ)インターンシップ(就業体験)など体験学習を通して勤労意欲を高めるとともに、社会規範を身につけた生徒
- ウ)自ら学び、考え、生涯にわたって自主的、自立的に行動できる生徒
- エ)人権を尊重し、相手の立場に立って行動できる優しさや豊かな人間性を身につけた生徒
- オ)ボランティア活動など学校外の体験活動にも進んで取り組むことのできる地域の一員としての自覚を持った生徒

(3)特色ある教育

- ア)自分の個性、適性や興味・関心、進路の希望などに応じて、学科の枠を越えた科目選択ができるようにする。
- イ)総合学科においては、大学や専門学校などへの進学や社会の即戦力としてのスペシャリスト養成など、生徒の多様な進路希望に対応した科目選択が可能となるようにする。
- ウ)体育科においては、スポーツ振興や競技力の向上に貢献できる優れた技術と理論を身につけるため、入学年度から体育に関する専門教育に取り組む。
- エ)進路希望の明確化とその実現を図るため、進路選択や科目選択を支援するガイダンス機能を充実させる。
- オ)情報機器を活用した授業や発表の場の拡充を図り、情報活用能力、コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を育成する。
- カ)体験的、実践的な教育を充実するため、大学や地域産業などと連携しインターンシップ(就業体験)を実施するとともに、地域の優れた人材による社会人講話など、地域の教育力の活用に努める。
- キ)学校の教育活動全体を通じて人権尊重の理念についての理解を深め、生徒一人ひとりを大切にす教育を推進する。
- ク)地域の文化活動、スポーツ活動との連携を進め、地域に学び、地域に貢献できる能力を育てる教育に取り組む。

3 設置学科(案)



4 総合選択制

生徒一人ひとりの学習ニーズに対応して、多様な科目選択が可能となるようにするため、総合学科と体育科の枠を越えた科目選択ができる総合選択制を取り入れる。

そのことにより、部活動や学校行事だけではなく、授業においても両学科の生徒が切磋琢磨しながら学習できるようになる。

体育科の生徒が、例えば、「数学B」、「リーディング」、「家庭看護・福祉」、「ビジネス基礎」、「情報技術基礎」など総合学科の科目を選択できる。

総合学科の生徒が、例えば、「スポーツ」、「トレーニング理論」、「スポーツレクリエーション」、「スポーツ傷害」など体育科の科目を選択できる。